

総評

数学がやや難しめでしたが、他の教科は標準から易しめ、全体としては標準的な出題でした。

今回の試験範囲である、中1の冬期までの内容は、入試に向けてのいわゆる「基礎」の部分ですから、どの教科も確実に身につけておきたい内容ばかりです。間違えた問題は徹底的に復習し、基礎を完璧にしましょう。

1月からの学習はまた一段難しくなります。結果が良くても油断せず、より実践的な問題に取り組みましょう。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけでは価値はありません。自分の間違いの傾向や弱点を把握し、苦手な問題を克服してこそ、受験した価値があるのです。せっかくの受験を無駄にしないためにも、間違えた問題の直しを必ず行って、実力アップに役立ててください。

国語

標準的な難易度の出題となりました。

㊦は、(5)の「延期」の得点率がやや低くなりました。入試では小学校で習った漢字も出題されます。今のうちにしっかり定着させておきましょう。㊦は、問三の得点率がやや低くなりました。会話の内容をもとに、空欄の前後の表現につながるようにまとめることができたかがポイントでした。㊦は、問一と問五の得点率が低くなりました。問五は、解答の形式が箇条書きのようなものが多く見られました。問題文をよく読むと、どのような形式で解答を書けばよいかはわかるはずですが。㊦の問五は、文章全体の構造をつかむ必要があったため、得点率がとても低くなりました。㊦の問二と問三は、得点率がとても低くなりました。省略されている主語や動詞に注意しながら、全体の流れを正確に把握しましょう。

数学

全体としてはやや難しめの出題でしたが、小問の単位では基本的な内容も多く含まれていました。間違ってしまった問題や、あいまいな点は必ず見直しましょう。

①はいずれも基本的な問題ですが、不等式の表し方など身につけていない人もいます。改めて教科書を確認しましょう。②問2は、表の値の平均や合計がいくつになるかを考えましょう。③問2、問3の正答率が伸びませんでした。解説の図を参考に、文字式での表し方を考えてみましょう。④問3は頻出のパターンですから、必ずできるようにしておきたい問題です。道のりと速さ、時間の関係を図示して理解しましょう。

⑤問3は、比例・反比例のグラフと図形の融合問題でした。座標を文字を用いて表すことに慣れると、今回のような問題にも応用できます。よく確認しましょう。

社会

標準的な出題でした。

地理分野では、②問3(2)の時差の問題、③問8や⑤問6のような資料を利用した問題、④問5の記述などで得点率が低くなりました。資料を利用した問題は入試でもよく出題されるので、苦手な人は問題集などを利用して問題に慣れておきましょう。また、記述問題については、問いに対する解答になっていないものや指定語句の書き忘れがありましたので、問題文をよく読んで解答するようにしましょう。

歴史分野では、⑧問6の時期を選ぶ問題の得点率が非常に低くなりました。歴史については、政治の流れも重要ですが、それだけではなく、各時代の代表的な文化や仏教の宗派なども合わせておさえるようにしましょう。

理科

やや易しい難易度となりました。

①と②は、どちらも1問ずつ得点率の低い問題がありましたが、他は全体によくできていたようです。基本的な内容が多く出題されたので、間違えたところはしっかりと復習しましょう。③は、問4が難しかったようです。④は、問4の「記号」は正解できていたものの、「説明」で問題文の指示通りに記述しておらず得点を取りこぼした答案が少なくありませんでした。どのように解答すべきか問題文をよく読むようにしましょう。⑥は得点率が低めになりました。実像と虚像ができるときの条件や、物体とスクリーンの距離と像の大きさとの関係を確認してください。⑦は得点率の高低が問題によって大きくなりました。音の波形と音の大小や高低について復習しましょう。

英語

標準的な難易度の出題となりました。

得点率が30%前後になった問題がいくつか見られました。間違えた問題をそのままにせず、2年生になる前にしっかりと復習しておきましょう。

①のリスニング問題は全体的によくできていました。引き続き得点できるようにしましょう。

③では問2の得点率が低くなりました。①のwant to be～「～になりたい」という表現はよくできていましたが、②のlike～「～のような」という表現が難しかったようです。2年生になる前にしっかりと覚えておきたい表現です。

④の選択問題は1年生で習う文法項目からの出題となりました。教科書の基本文などを中心に問題しているので、間違えた人はよく確認しましょう。